

2025年5月23日

神奈川県内 小中学校長様
囲碁部・囲碁クラブ顧問・囲碁教室関係者・保護者様

神奈川県中学校囲碁連盟
会長 松岡 秀彦
(横浜市立飯島中学校長)

第18回 文部科学大臣杯 小・中学校囲碁団体戦 神奈川県予選 兼 第29回 神奈川県小・中学校囲碁選手権大会 募集要項

目的	1. 神奈川県の小中学生に囲碁の普及をはかる。 2. 団体戦を行うことにより、部員(仲間)同士の結束を高める。
主催	神奈川県中学校囲碁連盟 (kanagawa-jhs-igo.sakura.ne.jp) / 公益財団法人 日本棋院
後援	文部科学省 / NHK / 神奈川県教育会館 (http://kec-y.or.jp/index.html) * この大会は競輪の補助を受けています
日時	2025年 6月29日(日) 9:15 集合 13時半ごろ終了予定
会場	神奈川県教育会館 3階中会議室(小学校団体戦および中学校選手権) 4階大会議室(中学校A~C級団体戦およびD級認定大会) 〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 <電車> 相鉄線「西横浜」駅、京急「戸部」駅より歩15分。横浜市営地下鉄「高島町」駅より歩25分。<バス> 「水道道」バス停より歩15分。
参加資格	【団体戦：小学校および中学校選手権戦】 県内の同一校児童生徒3~4名1組のチーム。県代表となったら全国大会(7/27,28東京市ヶ谷)に必ず出場できること。 【団体戦：A~C級戦】 2~4名1組のチーム。複数校による合同チームも可。 【認定大会：D級のみ】 19~25級の幼小中高校生。13路盤で終局・整地が分かること。
参加費	【団体戦】 1チーム 1,500円 (各クラスの朝の受付でチームごとに払ってください。) 【認定大会】 ひとり 500円 (参加者が朝のD級受付で払ってください)
持ち物	筆記用具、飲み物、昼食、賞状(A4版)入れ、ハンカチ
申込方法	ホームページから申込書をダウンロードし、 ホームページQRコード → 入力作成したファイルを【Eメール添付】で下記の申込先に送ってください。
申込先 問合せ先	<small>ひろお</small> 県中学校囲碁連盟事務局 三浦弘生(桐蔭学園 囲碁部顧問) 【TEL】 桐蔭学園 045-971-1413 【Eメール】 hmiura@toin.ac.jp
申込期間	2025年 5月26日(月) ~6月12日(木) 締切厳守!
参加者および保護者の皆様へのお願い	・ 中学校選手権戦に出場する選手は、入賞すると記念写真撮影があります。標準服、制服、または襟付きシャツ等をきちんと着用し、県代表としてふさわしい服装で参加すること。 ・ 対局中のスマートフォン・タブレット端末等の使用は禁止。・ ゴミはすべて持ち帰りです。 ・ 2階は使用不可。出入りしないでください。・ 筆記用具を忘れないでください。 ・ 保護者の方は、会場後ろ側の空席や、3・4階の保護者控え室をご利用ください。
個人情報の取扱いについて	大会の成績優秀者は、氏名および学校名、写真、インタビュー記事等を神奈川県中学校囲碁連盟ホームページや囲碁関係の新聞雑誌等に掲載することがあります。不都合があれば、大会事務局までご連絡下さい。

引率の先生へ	<ul style="list-style-type: none"> ・引率の先生方にスタッフとして大会運営の簡単なお手伝いをお願いしています。なお、スタッフの皆様にはお弁当と飲み物を用意しています。 ・大会実施1週間前に、ホームページでクラス分けを発表しますので、必ずご確認ください。
時程(予定)	<p><役員集合・開錠> 8:45 (役員の学校、早く着いた学校で会場設営)</p> <p><全員集合> 9:15厳守 (近隣の迷惑となりますので、8:45より前には到着しないこと)</p> <p><小学校・中学校選手権戦(3階)> *小学校はチーム数が少ない場合は早く終わります。</p> <p>受付 9:00-9:15</p> <p>開会式 9:25-35 / 1回戦9:40~/ 2回戦10:25~/ 3回戦11:10~</p> <p>昼食 11:50-12:15/</p> <p>4回戦 12:20~13:05</p> <p>閉会式 13:10-13:30</p> <p>片付け (全国大会出場校は写真撮影と説明) 13:30-13:45</p> <p><A-C級団体戦 D級認定大会(4階)></p> <p>受付 9:25-40</p> <p>開会式 9:45-9:55 / 1回戦10:05~/ 2回戦10:50~/ 3回戦11:35~</p> <p style="text-align: right;">* 3回戦終了後、時間があったら片付け。</p> <p style="text-align: center;">* D級は12時対局終了、閉会式前に認定状を渡す。</p> <p>A~C級団体戦閉会式 (4階は一斉) 12:20-12:35</p> <p>昼食 12:35-55</p> <p>最終片付け13:00-13:15 * 15:00完全撤退</p>
全国大会	<p><出場枠> 小学校 1校、中学校 5校 <日程> 7/27(日), 28(月)</p> <p><会場> 日本棋院東京本院 (東京市ヶ谷) * 詳細は別紙を出場校にお渡しします。</p>

競技規定【団体戦】

チームの人数と編成について	<ol style="list-style-type: none"> ① 1チーム3名(主将・副将・三将)による団体戦。補欠を1チーム1名登録できる。補欠選手が出場する場合に限り、選手の変更を1回だけ認める。交代選手の再出場はできない。 ② 各校顧問(チーム代表者)の判断で、認定大会等で認定された棋力より上の棋力で申し込むことができるが、認定された棋力より下の棋力で申し込むことはできない。 ③ 選手は棋力の高い順に主将から並べる。Aチームの三将(補欠)の次に棋力が高い選手がBチームの主将となり、以下のチームも同様に棋力順に編成する。 ④ 複数チームが参加する学校で、選手が欠席した場合、下位チームから上位チームへ選手を順に上げて補充できる。ただし、上位チームから下位チームに下げたの補充はできない。 ⑤ 遅刻している選手が会場に来ることが確実な場合は、対局開始後、対局時計を進めて待つ。 ⑥ 申込後の選手変更は、当日朝の受付時のみ。それ以降は変更できない。
---------------	---

クラス分けと対戦組合せについて	<p>① 主将と副将の平均棋力上位のチームから順に、選手権戦、A級戦、B級戦・・・と、事務局の判断でクラス分けをする。ただし、選手権戦は各校1チームまで。</p> <p>(*大会1週間前に、ホームページでクラス分けを発表しますので、必ずご確認ください。)</p> <p>② 中学校選手権戦は簡易スイス方式トーナメントによる3または4回戦。A～C級戦は8チームによるトーナメント3回戦を基本に、チーム数により簡易スイス方式や総当たり方式で行う。</p> <p>③ 小学校は選手権戦のみ行う。チーム数により最適な方式で行う。</p>
対局ルール【団体戦】	<p>① 19路盤を使用する。一番下のクラスでは13路盤を使用することもある。</p> <p>② 対局はすべて互先(コミ6目半)とする。主将が握って先番(黒番)を決め、以下交互に白番、先番とする。例)主将が先番なら、副将は白番、三将は先番。</p> <p>③ 19路盤では対局時計を使用する。20分切れ負け。対局時計を置く場所は白番が決める。対局時計は石を打った方の手で押す。アゲハマをたくさん取り上げる時は、いったん時計を止めてもかまわない。</p> <p>④ 問題が生じた場合は、対局中にすぐスタッフに申し出ること。</p>
表彰	<p>・中学校選手権戦は上位8校を表彰する。順位の決定は、①チーム勝数、②SOS、③SOSOS、④直接対戦の結果、⑤個人勝数計、⑥主将勝数、⑦副将勝数、⑧主将抽選、の順により行う。</p> <p>・その他のクラスは、上位を表彰する。(参加チーム数の1/4を目安とする。8チームトーナメントの場合なら優勝・準優勝の2校。)</p>

競技規定【認定戦:D級(19-25級)】

対局ルール【認定戦:D級】	<p>① 13路盤で計4～8回戦を行い勝敗により段級位を認定します。指導碁も同時進行します。</p> <p>② 13路盤のハンデは別表参照。持碁黒勝ち。コミ出しは対局開始前に行なってください。</p> <p>③ 勝った人はただちに1級昇級し、負けた人は同じ級で、次の対戦を行ないます。</p> <p>*指導碁は1勝とみなします。</p> <p>*進行が遅い対局は、スタッフが勝敗を判定することがあります。</p>
---------------	--

<13路盤のハンデ表> (D級戦の手合割り)

	同級	1級差	2級差	3級差	4級差	5級差	6級差	7級差
手合い割り	互先ニギリ	1子	2子	2子	3子	3子	4子	4子
黒からコミ出し	6目	なし	6目	なし	6目	なし	6目	なし

<段級位認定基準> 2023年7月改定 *1級の初段認定は4勝のみ。認定の上限は四段まで。

	4勝	3勝	2勝	1勝	0勝
段位戦(四段～初段)	1段昇段	申告段認定	認定せず	認定せず	認定せず
A級戦(1～5級)	1級昇級	1級昇級	申告級認定	認定せず	認定せず
B級戦(6～10級)	2級昇級	1級昇級	申告級認定	申告級認定	認定せず
C級戦(11～18級)	3級昇級	2級昇級	1級昇級	申告級認定	申告級認定
D級戦(19～25級)	13路盤で対局。勝ったら、1級昇級して、次の対局を行う。昇級の上限は16級。				

4. 団体戦のチーム編成のルールについて

募集要項では詳しくご説明することができず、結果として、毎年申込時のトラブルが多い、団体戦のチーム編成の仕方についてご説明いたします。

7人の部員がいる学校を例として、ご説明します。

直近の段級位認定大会で認定された段級位が、次のようだったとします。
 芝野8級、一力8級、藤沢10級、上野12級、小池14級、仲邑&辻は大会後に入部したので認定なし

× 認定された級通りにAチームから並べたが、実際の実力と違う

Aチーム	Bチーム
主将 芝野 8級	主将 上野 12級
副将 一力 8級	副将 小池 14級
三将 藤沢 10級	三将 仲邑 23級
補欠 なし	補欠 辻 25級

* 実際は藤沢より上野の方が強いなら、この編成は×

* 三将と補欠は4回戦を交互に2回ずつ登場

ルールでは、強い選手から順にAチームから編成することとなっています。
芝野と一力は同じ8級ですが、芝野の方が少し強いと言うので、芝野を主将にしました。
 また、初心者は「終局が分かるレベルを25級とする」とありますが、
仲邑と辻は二人とも終局は分かりますが、仲邑の方が少し強いので顧問の判断で仲邑を23級、辻を25級としました。

Aチームを4人にしても良いのですが、4人チームの三将と補欠は交代で出場するので対局数が少なくなります。そこで、弱い方のBチームを4人に行ってみました。
 ミーティングでメンバーを発表したところ、部員から次のような意見が出ました
「先生、上野さんは藤沢さんより強いです。部内で対戦すると必ず上野さんが勝ちます。」

× 実際の実力通りだが、ルール違反（認定された級よりも下げてしまう＝実力を偽る×）

Aチーム	Bチーム
主将 芝野 8級	主将 藤沢 10級→13級×
副将 一力 8級	副将 小池 14級
三将 上野 12級	三将 仲邑 23級
補欠 なし	補欠 辻 25級

認定された級より下げるのは×

そこで、上野と藤沢を入れ替えましたが、そのままでは、「強い順に並べる」に反します。
 そこで顧問の先生は藤沢を13級に変更しました。ブッブー！
 これもルール違反です。「すでに認定された級よりも下げてはいけません。」
 それは実力を偽って、自チームを有利な状況にすることにつながるからです。
 しかし、逆に、「すでに認定された級よりも上げることはかまいません。」
 それは、認定された後に、さらに実力が伸びたと顧問が判断したことになります。

○ 実際の実力通りで、ルール上も正しいチーム編成

Aチーム	Bチーム
主将 芝野 8級	主将 藤沢 10級
副将 一力 8級	副将 小池 14級
三将 上野 12級→9級	三将 仲邑 23級
補欠 なし	補欠 辻 25級

級を上げるのは○

上野を藤沢よりも強い9級に上げることで、実際通りでルール上もOKの編成となりました。